

トークセッションT-A

発表順	T-A-1	
氏名	所属	タイトル
北 英彦	三重大学工学部	ChatGPTのプログラミング演習での利用
<p>概要：プログラミング演習を担当する教員として学生がChatGPTで何ができるのか、授業としてどう対応したらよいかを速やかに検討する必要を感じた。本発表では、短期間で調べた結果ではあるがChatGPTのプログラミング教育での利用可能性の調査結果と試行錯誤しながらの授業の運用状況を報告する。また、授業でのプログラミングの授業におけるChatGPTの暫定的な利用法を提案する。</p>		

発表順	T-A-2	
氏名	所属	タイトル
松原 春奈	熊本大学生協同組合	PC講座24年度の取り組み 新しい組織づくりの面から
<p>今年度初めてPC講座を担当して、今年度の課題を整理し2024年度のPC講座を生協職員としてどのようにかわり、取り組んでいるかをご紹介します。</p> <p>1. 23年度 PC講座の現状：受講生数143人（昨年比－19人）、平均出席率80%（昨年比－14%）、最終出席率62.9%（昨年比－25.9%） 22年度オンライン実施 23年度対面実施 【課題】・対面講座の準備や新スタッフの育成が本講座に間に合わなかった ・年間計画を作成しておらず、何をすべきか見えていなかった</p> <p>2. 24年度取り組み 新しい組織づくりの面から次の事を実施中 (ア) スタッフ継続のため、職員がスタッフ全員に面談実施 (イ) リーダーを、年功序列制から、面談を踏まえ指名に変更 (ウ) 新スタッフ確保のため、受講生に直接声掛け (エ) リーダーと職員で年間計画を作成し、共有(オ) スライド・資料作成のチーム制導入</p>		

トークセッションT-B

発表順	T-B-1	
氏名	所属	タイトル
LI XIYUAN	鹿児島大学大学院 理工学研究科	大学内に分散した店舗を繋ぐ混雑システム -SmaMEの新機能-
<p>鹿児島大学生協同組合の店舗はキャンパス内に分散しており、特定の時間帯に利用が集中して混雑が発生している。先行研究では主に食事を提供する店舗の混雑時間およびその選択を支援する混雑システムSmaMEを開発し実際に運用を続けている。複数の店舗の混雑状況を数値化して提供することで、昼休み中の弁当を含めた摂食数(利用者数)は増加した。本発表ではSmaMEのつぎの試みとして、開発した従業員に向けた混雑情報に関する機能を紹介する。新しい機能では異なるネットワーク下の店舗を繋ぎ、店舗内の職員に各店舗のリアルタイム動画を提供する。職員にキャンパス内の店舗の混雑の様子を提供することにより、従業員に他店舗への関心を持ってもらい、自主的な店舗間の人員支援をはじめとする行動変容を期待する。 キーワード：Webカメラ、VPNネットワーク、店舗内の可視化</p>		

	T-B-2	
氏名	所属	タイトル
石丸巧人	鹿児島大学生協	2023年度入来牧場牛肉フェア
<p>鹿児島大学生協組織部では11月6～8日にかけて入来牧場牛肉フェアを開催しました。組合員に食を通して、楽しみながら命について考えてほしいという思いから始まった企画で10年以上続く鹿児島大学ならではの人気フェアとなっています。フェアの中では、牧場や牛に関する情報や牧場で実際に使われている機器の展示ブースが食堂内に設置されました。また、抽選会といった楽しいイベントや牛の部位パズル・耳標装着体験などの体験的に牛や牧場について学ぶことができるイベントも実施されました。これらの取り組みに関する報告と情報宣伝などを踏まえた振り返りや来年度に向けた課題について発表します。</p>		

